



《感染症発生状況(R8/9/1～9/30)》

	古河保健所管内	茨城県内
2類感染症	結核2件	結核29件
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件	腸管出血性大腸菌感染症12件
4類感染症	レジオネラ症1件	レジオネラ症15件
5類感染症	梅毒1件 	ウイルス性肝炎1件、百日咳2件、水痘(入院例)2件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症3件、梅毒11件 侵襲性肺炎球菌感染症4件、後天性免疫不全症候群6件 多剤耐性緑膿菌1件、急性脳症3件、破傷風1件

《今月のトピックス》 感染性胃腸炎

毎年、秋頃から嘔吐・下痢症が流行します。感染力が強く、無症状の感染者も含め、感染した人から他の人へ感染が広がる場合も少なくないので、感染予防が重要となります。

◎主な原因

原因	病原体
ウイルス	ロタウイルス、ノロウイルス アデノウイルス、サポウイルス
細菌	カンピロバクター、サルモネラ 腸炎ビブリオ、病原性大腸菌
その他	寄生虫



◎主な症状

一般的には、吐き気・嘔吐・腹痛・下痢などがあります。症状や潜伏期間などは、症状を起こした病原体の種類によって異なります。また、乳幼児や高齢者では、脱水症状を起こすこともあるので注意が必要です。

◎予防・対策

- ①手洗い・・・アルコール消毒は効かないため、手洗いが重要です。
- ②食品の加熱・・・加熱が必要な食品を取り扱う際には中心部まで十分に加熱しましょう。
- ③おう吐物などの処理・・・おう吐物は適切に処理し、感染を広げないようにすることが重要です。

【適切な処理方法】

- ・おう吐物などの処理や消毒を行うときは、十分に換気を行いましょう。
- ・使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- ・ペーパータオルなどでおう吐物などを静かに拭き取り、塩素系消毒剤を用いて消毒しましょう。
※使用する消毒剤の濃度：0.1%次亜塩素酸ナトリウム(水4Lにハイターのボトルキャップ16杯分)
- ・おう吐した場所から半径2メートルは消毒しましょう。
- ・拭き取ったおう吐物や使用した手袋などは、ビニール袋に密封して廃棄しましょう。
- ・感染している方が使用したり、おう吐物などが付いたものは、他のものと分けて洗浄、消毒しましょう。

*そのほか、詳しい情報は下記のホームページ(QRコード)をご参照ください。

○厚生労働省HP:



○茨城県HP:



【お問い合わせ】
古河保健所 保健指導課
TEL:0280-32-3068